

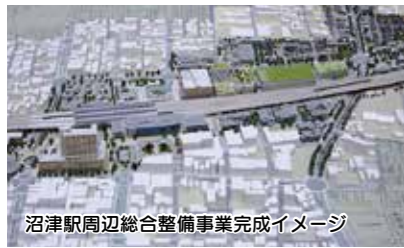
魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち

「誇り高い、元気なまち沼津」の実現を目指し、沼津のすばらしい地域資源も活かしながら、魅力と活力にあふれ、人々が訪れたいまちづくりを進めます。

快適で活力ある中心市街地の形成

▶鉄道高架化関連事業 【12億4,290万円】

新貨物ターミナル・新車両基地の用地取得や埋蔵文化財調査等を行うほか、土地収用法に基づく手続きを進め、鉄道高架事業の着実な進捗を図ります。



沼津駅周辺総合整備事業完成イメージ

▶中心市街地まちづくり戦略事業 【3,143万円】

沼津駅周辺エリアや駅前広場などの将来像について、市民意見の聴取などを行い、中心市街地の目指すべき方向性やヒト中心の公共空間の再編などまちづくりの戦略を示します。

▶自転車・歩行者ネットワーク整備事業 【6,647万円】

「沼津市自転車ネットワーク計画」に基づき、安全で快適な自転車通行空間の整備を進めるとともに、黒瀬橋のアンダーパス化の実現に向けて国と調整を進め、まちなかの回遊性や安全性の向上を図ります。

▶リノベーションまちづくり推進事業 【1,910万円】

これまでのリノベーションまちづくりの実績を活かし、民間事業者が行うまちづくり活動を支援するとともに、道路などの公共空間の利活用について検討します。



魅力あるまちづくりを育てるリノベーションスクール@沼津

体系的な交通網の整備

▶原・浮島地区まちづくり研究事業 【100万円】

東駿河湾環状道路西区間の将来的な整備を見据え、原・浮島地区における物流拠点化等のまちづくりについて検討します。

▶沼津南一色線道路改良事業 【1,007万円】

トンネルと橋梁を組み合わせた道路の整備と歴史的に高い価値を持つ高尾山古墳の保存を両立させるため、国内でも先進的な手法であるデザインコンペを実施し、質の高い整備と良好な景観の形成を図ります。



高尾山古墳



「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けて 平成31年度 施政方針に基づく重点施策について

公共交通の活性化

▶公共交通活性化事業【2,970万円】

市民や交通事業者などとともに、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークの実現を目指し「地域公共交通網形成計画」の策定に取り組みます。

▶新たな公共交通推進事業 【1,730万円】

沼津駅から沼津港までを結ぶEVバスの運行を実現するほか、機能的でわかりやすいバスマップを作成するなど、市民や観光で訪れた人にとって利便性の高い公共交通を目指します。



新たな交通システムの可能性を検証したEVバスの試験運行

産業振興

▶企業立地促進事業【4,187万円】

産業振興や雇用の創出を図るため、企業の設備投資などに対して助成するとともに、企業誘致に向けた工業用地の開発調査を実施します。

▶起業創業支援事業【1,309万円】

高校生を対象に起業に必要な知識習得のためのセミナーやワークショップを開催するとともに、まちなかでの起業を促進するため、民間のコワーキングスペースを活用して、起業者と事業者のネットワークづくりに取り組みます。

▶奨学金返還支援事業【139万円】

市内に居住し、市内中小企業に就職する人を対象とした奨学金返還支援制度を実施し、市内企業への就職を促進します。

▶地産地消関連事業【684万円】

戸田地区の地域資源である深海魚を活用して地域水産物の活性化を図るとともに、高校生による地産地消メニューコンテストを実施し、本市の農業に対する理解を深めるなど、地産地消を推進します。



地産地消を学ぶ「食育DAY」キャンパス

▶プレミアム付商品券発行事業 【10億円】

消費税増税に伴う低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行します。

第4次沼津市総合計画（2011～2020年度） に掲げられたまちづくり3本の柱

第一の柱

魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち

第二の柱

環境にやさしく、安全・安心を
実感できるまち

第三の柱

元気でいきいきと暮らせるまち



平成31年2月の市議会定例会で、新年度の市政運営の考えと、重点施策を盛り込んだ施政方針を発表しました。
頼重市長はこの中で、
・活力あふれるまちづくり
・いきいき暮らせるまちづくり
・魅力輝くまちづくり
の3つを指針とし、「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向け推進していくと述べました。
今回は、この重点施策を第4次沼津市総合計画の3本の柱ごとに紹介します。
◎政策企画課
☎055・934・4704
※平成31年度施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

広報めまづ 検索